

和東



第3回定例会

- | | | |
|--------|---------------------|----------|
| 決 算 | 令和5年度決算概要・主な質疑 | >>> P.2 |
| 決まったこと | 補正予算他 | >>> P.5 |
| 一般質問 | 3人が町政を問う | >>> P.8 |
| 委員会報告 | 総務厚生・産業他 | >>> P.12 |
| 私の推し | 茶源郷ガイドの会副会長 中川 桂子さん | >>> P.14 |

一心響力

歌で繋がり 心で繋がろう

和東中学校合唱発表会

トンネル開通後を見据え に備え事業展開



運行改善が求められる ワツカー

令和5年4月から奈良交通バスの湯船区間が廃止され「ワツカー」が代替に。湯船での登録者や利用が増加しました。一方、他地域での登録・利用は増えず、湯船での代替の役割は一定果たしたものの町全体の生活

バス（湯船区間）廃止うけ生活の足は

9月定例議会は10日から26日までの会期で開催されました。令和5年度決算認定や令和6年度補正予算、総合保健福祉施設医療機器購入の契約など町長提案の議案18件を審議し可決。議員提案の意見書は1件を可決、2件を否決しました。決算認定は19・20日に特別委員会で審議し、一般会計及び特別会計の決算を原案通り可決し認定しました。

物価高騰支援



生活応援
商品券事業
1931万4513円
価格高騰支援
商品券事業
1973万7983円
生活支援
燃料券事業
1649万9220円

路線の役割は果たせていないとして、運行改善を求める意見や要望が出されました。
物価高騰への生活支援
物価高騰が続く中、国の交付金を活用した施策として商品券や燃料券を配布。一方、燃料券配布が大幅に遅れた事や町独自の財源確保や施策が乏しいことへの意見も出しました。

子育て支援

子育て応援
給付金事業
160万円
医療費助成事業
936万7737円
インフルエンザ予防
接種助成事業
54万7300円



子育て支援を継続
保育料、学校給食費や修学旅行費、18歳までの医療費無償化を継続。新規に出産子育て応援給付金が増額されました。町の支援は府内でも先進的ですが、同じ支援の実施自治体も増えていきます。5年度の出生数は8人と2年連続一桁に止まり、今後の対策充実が求められます。

令和5年度 決算

コロナ5類移行

観光需要回復

保健福祉施設、景観駐車場の建設進む

総合保健福祉施設の整備に約6.6億円を支出し、工事が本格化。資材高騰の影響をうけ経費が増加傾向にあります。

駐車場を備えた石寺景観展望施設の整備工事も始まり、5年度には約6200万円が支出されました。駐車場は、乗用車27台、マイクロバス

2台のスペースを予定。

祝橋完成、石寺橋整備へ

祝橋の工事が完成し12月に開通。石寺橋の架け替え工事も始まりました。府道との交差点を十字に改良します。

新たな観光拠点づくり?

5年10月に鷲峰山トンネルの貫通

式が行われました。町は6年度中の

開通に向け、新たな観光拠点づくりとして「オープンエアミュージアム」構想を策定。「お茶と観光が融合したまちづくり」を掲げていますが、具体的な内容は不透明で、住民参加と丁寧な取組みが求められます。



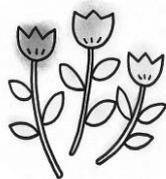
石寺景観展望施設整備工事始まる



令和5年12月に完成した祝橋

前町長の町葬を実施

5年6月に亡くなった堀忠雄前町長の町葬が昨年12月5日に実施されました。全額公費で約390万円を支出。町は前町長の功績を称えるためとする一方、法の下での平等に反する等の意見もありました。



決算特別委員会

Q&A

Q 商工会の茶太郎はなぜ9月27日に終了するのか。

A いったん休止のち今年4月に再開されたが、厳しい運営であったと聞く。車両の償却期間が切れる9月27日で終了される。

Q 高齢者対策の充実の観点からどう考えるのか。署名活動の動きもある。

A 担当課に要綱策定を指示し、できるだけ早く再開できるようにしたい。



早期再開が望まれる

Q 小中学校や海洋センターの体育館は、災害時の避難場所だけでなく部活動や住民のいろいろな活動に使われる。空調などの環境整備が不可欠。

A 電源など根本から入れ替えるにはかなりの経費が掛かる。計画的な改修が必要となる。

Q 避難所の案内表示や浸水域の見える化など一目でわかるような表示を。

A 再点検の必要があると思う。検討する。

Q 茶源郷行政情報配信システムは活用されているのか。利用率を調べるべきでは。

A インターネット利用が必須で、知らない人もいる。広報紙等で啓発する。



活発に活用を

Q 府道に交通安全灯がない区間がある。いつまで放置するのか。今年度3基設置の話が出ているが、電気

代の負担が必要。地元と協議したい。

Q 新型コロナウイルス接種による異変を訴えた方はいるか。

A 接種直後の痛みや倦怠感把握できない。令和4年度に1名副作用による後遺症が疑われる事例。関係機関で協議し、令和6年度予算で対応している。

Q がん検診に胃カメラを。

A 今のところ考えていないが、罹患率も高くなっており、受診率向上を目指す。

Q 交流ステーション等、ゆつくりできるスペースがない。一体的な施設の検討が必要では。

A 民間の力を借り、担当課が進めている。

Q 未収金が若干増えている。国保税で資格証明書発行の状況は。

A ※資格証明書は現在発行なし。
※特別な事情がないのに国保税を滞納している世帯主に

について「反対」「賛成」それぞれの立場から討論が行われました。

賛成討論 (畑 武志議員)

- ①生活支援燃料券や価格高騰支援商品券の配付、価格高騰緊急支援給付事業を切れ目なく実施、また子育て世帯等への給付金事業など、必要な方に必要な支援を行い、住民生活の下支えとなる施策を展開。
- ②保健・医療・福祉の総合的な拠点となる総合保健福祉施設建築工事が進められ、備品の検討など、供用開始後を見据え取組まれた。
- ③大規模事業による起債の償還を見据え、普通交付税等を可能な限り減債基金に積立て。ふるさと納税の充実など、安定的な財政運営の継続をめざし、自主財源の確保に努められた。
- ④耐震改修工事が完了した和東保育園での保育が再開。保育環境の向上を期待する。保育料や医療費、給食費などの無償化を継続し、子育てしやすいま

ちづくりの取組みを推進し、人口減少や少子高齢化の解消をめざした。

その他、新型コロナウイルスのワクチン接種体制の構築、道路改良、「ワッカー」の実証実験、特産品開発、交流拠点エリアの整備など、第5次総合計画に掲げる将来像「和の郷 知の郷 茶源郷 和東」の実現に向け事業展開された。

鷲峰山トンネルの開通や中長期的な財政展望を見据えて着実に事業を進めるとともに、住民の暮らしを守る取り組みを引き続き実施されることを期待する。

保険証の返還を求め、引き換えに発行する国保資格の証明書。医療機関窓口ではいったん10割負担する。

Q 農地利用最適化推進委員が4名。何をされるのか。

A 農業委員制度改革に伴い設置された。地域計画策定に尽力いただいている。

Q 配食サービスの実施状況は。

A 弁当の配達方式をとっている。食中毒に配慮し置き配は難しく、秋から冬の活動になる。



今後の活性化センター事業は

Q 活性化センターはいつたんこで立ち止まって

Q 検討し、進めるべきは進め、改めるものは改めるべきでは。

A 役員で検討し、計画的な運営をしていきたい。

Q 下水道のマンホールポンプが一齐に悪くなればどう更新するのか。

A そうならないようストックマネジメントを策定しており、全部一気にということとは考えられない。

Q マウンテンバイクランドは今後どのようにしていくのか。

A 森林環境や松の群生地であることをうまく活かして、自転車メーカーとコラボして自転車の聖地になりたい。



マウンテンバイクランドの今後は

Q 路線バスの利用者減少をどう捉えているか。

A 路線再編の結果、乗車密度は改善している。

Q 町道中溝学校線についての地元説明会は。

A 現在、1工区部分を施工しており、2工区は来年度になる。説明会開催の計画をしている。

Q 総合保健福祉施設の全体的なことが見えてきていない。住民への説明が不十分ではないか。配慮が必要。

A 説明が不十分であることは実感している。新たなチラシ等で、利用の仕方など丁寧に説明する。



町道中溝学校線

決算特別委員会では、令和5年度の一般会計及び各特別会計（湯船財産区特別会計は除く。）ここでは、一般会計決算への賛成討論と反対討論を掲載します。

反対討論 (岡本正意議員)

おかもとしょうい

- ①全額公費による町葬の実施は法の下での平等に反し、極めて不当。実施の是非判断は、広く住民の意見を聞き、賛成・反対の両論を踏まえた上で慎重に判断されるべきだった。
- ②異常な物価高騰から暮らしと生業を守り支える町独自の取組が極めて弱かった。国の財源頼みで、基金の活用も含め、町独自の対策は検討もされなかった。
- ③定住対策の強化、充実に十分取り組めていない。子育て支援の充実と住宅の整備・確保が重要だが、大変弱い。ある程度の規模の公的住宅の整備に町が責任を持って取り組み、定住の受皿をつくるべき。

- ④公共交通充実の取組が不十分。路線バスの値上げに抗議も、撤回も求めず、やすやすと値上げを許した町の姿勢に最大の問題がある。また、W a z C a r は生活の足としての役割を果たせていない。
- ⑤高齢者の暮らしを支える施策が乏しい。高齢者の暮らしは、厳しい状況が続いているが、町独自の支援はほとんどない。またシルバー人材センターの早期創設を改めて求める。
- ⑥相楽東部広域連合の在り方を見直し、特に教育委員会、広報などの事務は町の事務に戻す必要がある。教育委員会を連合で運営するメリットはなく、教育という重要な分野を町や町議会で議論できない、対応できない弊害は極めて大きい。以上の理由から反対する。

契約・条例改正など

和東町総合保健福祉施設建設工事請負契約（第2回変更）

工期を令和7年1月31日まで延長

和東町総合保健福祉施設医療機器（電子カルテ等）購入契約の締結

契約金額

3047万円

契約相手方

(株)三笑堂奈良中央支店

和東町総合保健福祉施設医療機器（理学療法機器）購入契約の締結

契約金額

1023万円

契約相手方

(株)三笑堂奈良中央支店

和東町国民健康保険条例の一部改正

令和6年12月2日をもって従来の紙の保険証が廃止されることへの対応

湯船辺地に係る総合整備計画の変更

計画年次を1年間延長。橋りょうに係る事業費やその財源内訳等の増額。

令和6年度補正予算は、一般会計・特別会計合わせて1億3651万円。公営企業会計（簡易水道・下水道）は収益的支出110万円、資本的支出251万4000円。

○一般会計補正予算	
・デジタル地域ポイント事業	2023万1000円
・障害者自立支援給付事業	1166万円
・総合保健福祉施設整備事業	4183万1000円
・物価高騰緊急支援給付（補足給付）事業	584万円
・予防諸経費	640万円

○簡易水道事業補正予算	
・配水管布設	200万円

○簡易水道事業補正予算	
・下水道管布設替	50万円

○国民健康補正予算	
・医薬材料費	920万7000円

○介護保険補正予算	
・介護予防サービス給付事業	200万円

主な質疑

問 総合保健福祉施設整備事業で約4000万円の補正の内容は。

答 仮設駐車場の本設工事を予定している。



現在の仮設駐車場

問 P F A Sはそもそも自然界に存在しない。汚染源の特定を。

答 調査地点を増やすよう検討する。

問 デジタル地域ポイント事業とは何か。

答 茶源郷ポイントをデジタル化するもので、直接住民に支払うものをより早く住民に届ける。

問 デジタル地域ポイント事業は住民生活の支援、地域経済を回すためというのわかるが、国のお金がなければ動かないというのの意味がない。財源確保の見通しはあるのか。

答 町内での利用で、町内業者の所得が上がり、所得が上がることで税収が入ってくるということを期待している。その中で地域経済を回したい。

問 W a z C a rの運用について、次年度に向けて議論されるが、湯船以外の住民の意見はどう反映するのか。

答 広く住民の意見を聞き和東町交通運営協議会で議論し改善したい。

問 海洋センタープールの廃止の方向性は。

答 消防水利として使用しており、その検討も必要。

監査委員選任に同意

前監査委員の任期満了に伴い、新しい監査委員に次の方が選任され同意しました。

渡邊 正徳 氏
わたなべ まさのり

(任期 令和6年11月19日から令和10年11月18日)

意見書

第3回定例会(9月)に次のとおり意見書が提出されました。

①再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書

提出者 高山豊彦 議員

可決

賛成者 7人
 反対者 1人

②健康保険証の廃止中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 2人
 反対者 6人

③食糧の安定供給に関する意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 2人
 反対者 6人

各議員の賛否

令和6年第3回定例会(9月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			村山一彦	宗健司	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
委	令和5年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
委	令和5年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
委	令和5年度和東町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
委	令和5年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
委	令和5年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
委	令和5年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
本	和東町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	×	○	○	欠	-
本	再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	-
本	健康保険証の廃止中止を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○	×	×	欠	-
本	食糧の安定供給に関する意見書	否決	×	×	○	×	×	○	×	×	欠	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 -は採決に加わらない
 吉田哲也議長は本会議の採決に、村山一彦決算特別委員長は決算認定の採決に加わりません。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

9月10日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山 豊彦 議員（9ページ）

1. 第5次総合計画の前期基本計画及び総合戦略の課題を問う
2. 医療的支援について

②山本 達也 議員（10ページ）

1. 和東町の防災対策は
2. 和東町水道水の安全性は
3. 和東町ホームページの改修状況は
4. 空き家を空き家バンクに提供いただくための新たな仕組みや施策は

③岡本 正意 議員（11ページ）

1. 保険証廃止の中止、存続を
2. 「酷暑・猛暑」対策の強化、改善を
3. 町道の改修について
4. 移動販売「茶太郎」の終了をうけて

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。





後期基本計画策定に

たかやま とよひこ
高山豊彦 議員

幅広い関係者と十分な議論を！

町長

横の連携は重要、プロジェクトチームで十分議論し事務を進める。

	湯船地区	その他エリア	計
4月	185人	35人	220人
5月	200人	21人	221人
6月	107人	16人	123人
7月	131人	12人	143人
8月	147人	21人	168人

問 第5次総合計画前期基本計画等の課題は。

答 町長
社会情勢を見据えながら、事業の進行管理を行いSDGsが掲げる持続可能な行政運営に取り組む。

問 WazCarの運営にNPO法人yubuneが関わる業務内容は。

答 総務課長
運行業務全般をお願いしている。

問 今年4月以降の月別利用状況は。

答 総務課長
※答弁内容は左記表のとおり。

問 6月以降減少したのは予約方法や運行時間の変更が原因、7月から湯船地区、8月19日からその他の地区の予約方法を変更し増加している。より利用しやすい運行に変更が必要か。

答 総務課長
高水準の運行を目指し検討していく。

問 山城ヤサカ交通を除くドライバーの登録数は。

答 総務課長
NPO法人yubune 11名、総務課職員5名、計16名となっている。

問 運行形態は、福祉的な要素や観光も関連するが、どういった形で議論されたのか。

答 総務課長
町長や関係課長、湯船地区とも協議をし、地域公共交通会議でも承認をいただいていた。自家用有償運送は初めの取り組みで、ご利用の皆様が満足度が得られるよう協議し、模索しながら運行している。より良い運行となるよう検討したい。

問 令和7年度以降の検討はされているのか。

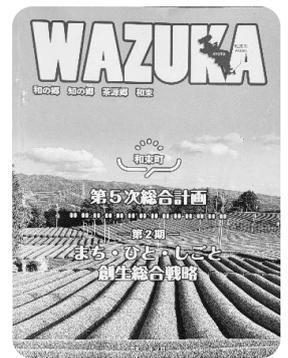
答 総務課長
具体的な協議は進めていないが、地域の中で運行できたらと考えている。

問 ドライバーの確保が難しいと考えるが、広く公募し女性の方の協力も働きかけてはどうか。

答 町長
高齢化が進む中で今後の課題となる。雇用の創出という点からも地域の方の募集や団体からの声掛けも考えていた。

問 下水道事業の課題は。

答 建設事業課長
下水道整備当初の起債の元利償還が大きく、使用料収入では必要な経費の回収ができないため、基準外繰



入金で維持している。中央浄化センターの施設の更新を迎える中、経営を継続することは大変難しい。

問 人口が減少する中で事業をどう運営するか、早急に議論すべきではないか。

答 町長
住民の皆様が現状をご理解いただき、ストックマネジメント計画を円滑に進めたい。

医療支援の考え方を問う

問 ①がん治療に伴う外見変化をケアする「アピアランスケア支援」や、②带状疱疹を予防するワクチン接種の支援の考えは。

答 福祉課長
①どういった支援が必要なのか、町長・医療関係者・当事者やご家族の意見を聞き検討・協議したい。
②国・京都府の動向を注視し議論を深めたい。

※アピアランスケアとは、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア（厚生労働省HP）

自然災害が多発する中、和東町の防災対策は

やまもと たつや
山本 達也 議員



的確且つ正確な情報共有と防災計画やハザードマップ 確認でまず自助・共助その上で行政支援を行う

町長

問 和東町の防災対策は。

答 町長

和東町防災会議の地域防災計画に従い的確で正確な情報共有に加え、町民自身も防災計画とハザードマップを確認し自助・共助を願いたい。その上で行政が生命・財産を守る支援をする。

答 総務課長

(1) 和東町の対口支援自治体はない。京都府の派遣要請により支援を行う。

※対口支援とは被災市区町村ごとに都道府県又は指定都市を原則として1対1で割り当てることにより、担当する都道府県又は指定都市を決定し、対口支援団体が基本的に自ら完結して応援職員を派遣すること。カウンターパート方式とも呼ばれる。

(2) 食料及び水の備蓄量は町民全体の1〜2日分に当たる飲料水5000ml、5680本、2食分入缶入りパン1800缶、アルファ米4680食を防災備蓄倉庫、各公民館に備えている。

(3) 各地区の避難場所と避難経路は防災マップを配布しホームページや広報紙で告知。避難所開設時には防災行政無線や緊急エ

リアメールで周知する。

(4) 全ての避難場所の生活環境（冷暖房空調設備、トイレ環境、間仕切りテナント、ベッド）は10カ所の指定避難場所全て冷暖房空調、トイレは整備。ただし小中とB&G体育館には空調設備はない。間仕切りテナント、簡易ベッ下は小学校、B&Gの倉庫に備蓄。

(5) 災害時に全住民の病状（血液型、処方箋、持病、既往症やアレルギー等）を把握する手段やツールは、民生児童委員協議会の地域支え合い事業で高齢者世帯、独居老人世帯に病状等を記載した紙を容器に入れて冷蔵庫に保管。消防とも連携。

問 突然起こる巨大地震の対応で職員の約半数が町外から通う中、夜に被災し孤立化したら役場は機能するか。

答 町長
最大限和東庁舎に職員が集まれる体制を取りたい。二百数十名の消防団員が第一次対応ボランティアで業務に当たる。

問 町民、消防、町職員も全員被災する中、他にも手を借る仕組みとして社会福祉協議会の取り組みの災害ボランティア登録者を増やし活用するべき。また全町あげた避難訓練を実施しウィークポイントを改善するべき。手が足りない、避難環境が悪い等による災害関連死は絶対に防ぐべき。その中で災害弱者と言われる要配慮者は町内に何名居られるか。

答 総務課長
要配慮者の数字は把握していないが、役場で救済するのは限界があり各地区に自主防災組織の設立を願う。木屋、南では立ち上げ済み。園地区も立ち上げ準備中。消防団と連携して救済活動をするには日常から避難訓練の実施が減災に繋がる。

問 和東町の水道水の安全性について、検査実施の間隔と最新の検査結果は。

答 建設事業課長
最新の検査結果で水質管理目標設定項目のうち原水の数項目に基準を満たさないものがあるが上水処理で問題ない範囲にある。令和6年度の水源と水道水調査

ではPFAS、PFOAとも暫定目標値以下の数値。

問 和東町ホームページ改修の進捗状況と改修終了予定日は。また途中経過を見て確認するのは可能か。

答 総務課長
10月から新しいホームページになる。途中経過は議員であれば見る事は可能。

問 空き家を空き家バンクに提供いただくための新たな仕組みや施策は。

答 地域力推進課長
遠方の持ち主には固定資産税通知書に併せて働きかける。町内の持ち主には活性化センターが非常に大きな役割を担い積極的に親身に細かい所まで動いている。

問 空き家を手放す際の支援金の増額が必要だができるか。

答 地域力推進課長
現在湯船、東和東地区は10万円、以外は5万円が京都府の制度に従っているが積み増しを働きかけている。



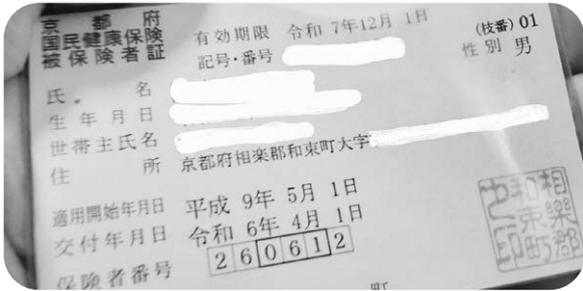
おかもと まさゆき 議員
岡本 正意 議員

国民多数が反対する健康保険証廃止の中止を

政府に要請すべきでは

マイナ保険証はメリットがあり 円滑な制度移行を進める

町長



国民健康保険被保険者証

問 保険証の廃止中止を国に強く要望すべきでは。

答 町長 制度周知を徹底し円滑な移行を進めたい。

問 全被保険者に資格確認書の発行を。

答 税住民課長 全被保険者への発行は想定していない。申請による交付ができる場合がある。

問 トラブル回避のためにも無条件で交付を。

答 税住民課長 マイナ保険証と資格確認書で対応する。

問 マイナンバーカードもマイナ保険証も取得は任意ですか。

答 税住民課長 任意です。

問 廃止はマイナ保険証の強制ではないか。

答 町長 マイナ保険証を持たないなら資格確認書を出す対応で問題ない。

酷暑・猛暑対策の強化、改善を

問 小中学校体育館、海洋センターアリーナとトレーニングルームに空調整備を。

答 町長 大規模改修が必要で、計画はない。

問 避難所でもあり設置は直ちに検討すべき。

答 町長 考えていないし計画するつもりもない。

問 再度、現場を見て声を聴かれたら良いのでは。

答 町長 昨年も今年の夏前にも確認した上で、必要ないと考えている。

問 全公共施設での断熱、遮熱の改修を。個人家屋での改修補助を。

答 農村振興課長 今後、建設する施設では考慮する。個人改修には国の補助がある。

問 低所得世帯でのエアコン設置の補助を。

答 町長 府社協の貸付制度を周知する。

町道白栖撰原線、下島銭司線の改修を

問 傷みが激しい白栖撰原線の改修、舗装を。

答 建設事業課長 職員で清掃やレミフアルト補修を実施した。

問 町道下島銭司線について①損壊、崩壊の経過と原因の説明を②損壊、崩壊の責任は③原状回復、通行再開の方向性は。

答 町長 ①原因は調査中で、解析ができていない②「犯人さがし」を行う指示は出ていない③通行再開の時期は現時点で未定。広域連合で議論する。

問 町道は町の問題。崩壊は今回の工事が原因であり業者責任もあるのでは。

答 町長 平成5年以來の経過があり、連合と協議し検討する。

移動販売「茶太郎」終了をうけて

問 受けとめと今後の方向性は。

答 町長 移動販売の課題を整理し慎重に検討したい。

問 再開の具体的なメドは。

答 町長 遅くとも来年度から絶対に再開したい。

総務厚生常任委員会

海洋センター照明設備のLED化を予定

畑井上・山本
小西・村山



照明設備がLEDに 海洋センター

け事業は、6月から茶源郷和東交通運営協議会が運行。8月19日からは利用の3時間前までの当日予約が可能に。

税住民課

○価格高騰緊急支援給付(補足給付)事業は、定額減税不足額として602件、2514万円を8月29日から振込開始。

福祉課

○児童手当給付事業は10月以降増額が予定されている。

委員からの意見や質問

問 海洋センタープールでは監視員の確保が課題であった。どれくらい確保できたか。

答 6名を確保し、4名体制で監視。監視員は救急救命講習を受講してもら

問 住民サービスの 일환として出産・子育て応援事業のサイトにリンクを張るべきでは。

答 事業者の協力のもと京都府が管理しているサイトであり、確認が必要。

問 国保診療所で診察後、薬や会計までの待ち時間が長い。改善を。

答 体制も含めて調整したい。



待ち時間の短縮を

問 団塊の世代が次々と後期高齢者医療に入ってくる。人間ドックの申し込みも定員オーバーとなっている。増やすべきでは。

答 国保ドックの状況と合わせて検討します。

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

令和6年第2回定例会 7月23日午前9時30分

・学校行事としての万博の対応、笠置小学校プールの修繕、認定こども園の管轄、ごみ処理方針とクリーンセンター処分にかかる意思決定について2名の議員が一般質問。

・令和5年度一般会計補正予算(第4号専決)は、歳入歳出それぞれ5591万7000円を減額するもの。全員の賛成で承認。

・令和6年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ2543万2000円を増額するもの。賛成多数で可決。

京都地方税機構議会

8月定例会 8月7日午後2時

・副広域連合長に古川博規氏(京都府副知事)を選任。

・一般質問は3名。

・令和5年度一般会計歳入歳出決算は賛成多数で可決。

令和5年度決算額

歳入総額

24億5327万3000円

歳出総額

24億5226万2000円



復旧工事が進む府道宇治木屋線

9月4日に開催した産業常任委員会では、令和6年度事業の進捗状況の説明を受け審議を行いました。また、5月の路面崩壊以降、通行止めが続いている府道宇治木屋線犬打峠上り口付近、工事中の総合保健福祉施設の現地調査を行いました。

産業常任委員会

通行止め続く府道・犬打峠

早期の通行再開を要望

岡本
高山・宗
岡田・吉田

- 【令和6年度事業への委員の意見】
- ・ 協働のまちづくり事業の内容は。
 - ・ 空家の活用状況、移住希望者の負担軽減を。
 - ・ 移住者の年代等の特徴は。
 - ・ 移動販売事業終了の経過、要因は。
 - ・ 日帰りツアーや農泊体験事業の現状と今後の方向性。
 - ・ 町道撰原下島線の進捗状況は。
 - ・ 水道、下水道委員会の開催状況は。
 - ・ 星野リゾートの誘致、協定事業の状況は。
 - ・ ごみの分別、特にプラスチックの取り扱い。
 - ・ P F O S、P F O Aの水質検査結果と今後の対応は。

- ・ 集落内河川の浚渫など豪雨対策、南海トラフ地震注意報発令への対応。
- ・ 援農者の労働環境などの相談体制整備や情報提供を。
- ・ コメ不足や価格高騰の実態把握、安定供給にむけて政府へ要望を。

- 【現地調査①府道崩落現場】
- 復旧・通行再開のめどについて府土木事務所より説明をうけ、崩落箇所の上部を復旧した上で下部の工事を行う、工事期間は上部に約3カ月、下部に約2カ月を予定。年内の通行再開は困難との見通しでした。
- ※本会議での町長の報告では、年内開通へ府と調整しているとの方向性が示されています。
- 【現地調査②総合保健福祉施設工事現場】
- 完成にむけ工事が進む施設内を案内いただき、診療所や福祉課、社協などの予定エリアの工事状況を視察。施設は来年4月からのオープンを予定しています。

広域連合議会報告

京都府後期高齢者医療広域連合議会

令和6年第2回定例会

8月9日午後1時30分

副広域連合長に古川博規氏（京都府副知事）を選任

一般質問は4名

後期高齢者医療に関する条例の一部改正（専決）、令和5年度一般会計補正予算（第3号専決）は、全員賛成で承認。

令和6年度一般会計補正予算（第1号）は、全員賛成で可決。

令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算は、賛成者多数で可決。

令和5年度一般会計歳入歳出決算・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算は、賛成者多数で認定。

令和5年度一般会計決算

歳入決算額

11億1077万8751円

歳出決算額

10億1760万1509円

令和5年度特別会計決算

歳入決算額

4164億9166万4541円

歳出決算額

4059億3921万8468円

「保険料・窓口負担の引き下げなど、制度の改善に関する請願書」「現行の後期高齢者医療被保険者証の存続を国に求める請願書」は、賛成者少数で不採択。



前号から始まった、様々な方に、和東の「いいとこ」を語っていただく新しいシリーズ「いいとこ和東 私の推し」。今回は、「茶源郷ガイドの会」副会長の中川桂子さんです。



Q ガイドの会に入られて何年になりますか？

会が発足し活動をスタートしたのは2010年秋からですので14年になります。

Q ガイドの会に入られたきっかけは？

ガイドの会の方から「入りませんか」とお誘いを受けたからです。自分が住んでいる地区以外の知らないところを歩くのは楽しいだろうなと思いました。

Q これまで主にどういった方のガイドをされましたか？

大手旅行会社の団体や個人のグループ、修学旅行生などいろいろあります。



原山からの風景

Q 困ったことやよかったと感じることは？

グループを作って引率するので、個人の方が自由な行動をされると安全面に気を使います。

良かったことは、茶源郷祭りでガイドをした時、リピーターの方に「去年も来ました」と言ってもらったことです。

**「私の推し」は
豊かな自然と古代からの
歴史や文化**

Q ガイドをされた方の反応は？

歩いていると府道からは見えない美しい茶畑景観があることに驚かれます。また、茶畑の中の防霜ファンや寒冷紗を見てとても興味を持たれます。

Q 町の魅力として伝えたいことは？

多くの野鳥の声を聞きながら茶畑を眺めることが出来る自然の豊かさがあること。古代からの歴史や和東が万葉集に詠まれていることなどです。

みなさんに和東の文化や歴史をたくさん知って好きになっていただきたいと思います。

Q 和東が将来どのような町になってほしいですか？

若い人が住みたいと思えるような町になってほしいです。

(取材：高山豊彦・山本達也)

第4回定例会は、12月中旬開催予定。

委員長	高山豊彦
副委員長	岡本正意
委員	山本達也
委員	畑本武志
委員	小西啓

広報編集委員会

今夏は昨年以上に酷暑となりまし
た。残暑も長引き、秋は一体どこに
いったのか。以前は9月に開催されて
いた小中学校の運動会、体育大会も、
小学校に続き、今年は中学校も10月開
催になりました。子どもたちにとつて
も、見守る保護者や住民にとつても、
やはり運動会は秋らしい季節の中で、
が一番ですね。
それにしても、やはり気候がおかし
い。「温暖化」を通り越して「沸騰化」
とも言われ、このまま推移すれば10年
もしないうちに回復不可能の臨界点に
達するとの指摘もあります。熱中症の
リスクが高まるだけでなく、農作物の
生育への影響、自然災害の大規模化な
ど人間はもちろん生物全体の生存に関
わる重大な問題です。
運動会の日程だけでなく様々な面で
の「変更」を迫られているのかもしれ
ません。

(岡本 正意)

編集後記